

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国学力・学習状況調査で第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 説明文において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができています。
- 説明文において、目的に応じて必要な情報に着目して要約することができています。
- 文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。

【数 学】

- 統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができています。
- 複数の集団のデータ分布を適切に読み取り、それを根拠に自分の考えを伝えられている。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができている生徒が多い。
- 数の性質を説明する際にあたり、適切な文字式に表す技能に課題がある。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- ほぼ全員の生徒が朝食を毎日食べており、全国、県と比較して多い。
- 平日1日あたりにスマホ等でSNSや動画視聴を4時間以上する生徒がほとんどいない。
- 平日、週末に2時間以上勉強をしている生徒が30%以上いる。
- 自分にはよいところがある、ややあると答えた生徒が全国、県と比較してやや少ない。
- 地域や社会をよくするため何かしてみたいと思う生徒が、全国、県と比較してやや少ない。
- 1・2年生の授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと肯定的に答えた生徒が全国、県と比較してやや少ない。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ズレを生む問いの活用類型を取り入れた、全員授業研修の実施
- ・定期考査にて学力調査問題等を参考にした思考力を問う記述解答式問題の出題

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・繰り返し学習や個別学習によって、知識の定着や技能の習熟を図る ICT の活用
- ・探究的な学習の過程を意識した授業づくり

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・相互カウンセリング活動を通じた安心して学べる場としての学級集団づくり
- ・手帳を活用した目標設定と振り返り、生活習慣や学習時間の記録の定着

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・道徳や特別活動を中心とした自己の成長を振り返る場面や自分のよさや個性について考える場面の設定
- ・伝統文化継承活動・農業体験・地域ボランティア・起業家教育などの取組の中で生徒が主体的・協働的に活動できる場の設定